

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山形県支部)

- ①コールサイン : JF7EIT
②氏名(フリガナ) : 佐藤 徳昭 (サトウ ノリアキ)
③年齢 : 70歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士 (二陸特 四海通 航空特)

力を入れている無線活動

○ARISS スクールコンタクトの実施や体験運用を通して、子ども・若年層の育成に努めている。

地元中学校の閉校記念に宇宙飛行士との交信を成功させた。体験運用の日に毎年継続参加は東北で唯一です。

○5.6GFHz-ATV の技術を活用して総合防災訓練に参加するなど、地域貢献に努めている。

離れた場所からの訓練現場の映像伝送は大好評で、アマチュア無線でこんなことができるのかと驚かれた。

○隣県支部のハムの集いに出展して活動を紹介する他、情報共有や意見交換の機会を設けている。

JARL に対して自分ができる貢献(具体的に)

- ①アマチュア無線界に係る課題や疑問及び意見・要望を JARL 社員総会の場で積極的に発言します。
過去、社員2期に渡り、体験運用における相手局のマナーの悪さや適切な運用の仕方などについて、社員総会やハムの集い等の機会に JARL 会長に提言してきました。今後も(3期目)多くの方々からの意見や要望、疑問点を、社員総会でどんどん発言して JARL 社員としての責任を果たしてまいります。
- ②各地のハムイベントに積極的に出展し、各県支部長や各クラブ、ハム仲間たちと連携を深めます。
ハムフェアには毎年参加して情報収集に努める他、宮城県及び福島県ハムの集いに出展しての活動紹介などを通して、JARL 会長や各県支部長、地域クラブ、各地のハム仲間との面識を広めてきました。今後も多くの方々と交流を深め、人脈を活かして JARL のパイプ役としての役割に徹してまいります。
- ③東北地方本部選出社員に呼び掛け、東北社員連絡会(仮称)の設立を積極的に働きかけます。
東北地方本部社員による意見交換を目的とし、各社員の活動や各県支部の状況などの情報共有を図る連絡会を設立するため、本部長と連携して検討を進めます。現状では各社員の活躍する姿が見えません。どんな活動をしているのか会員の皆さまにも理解いただくため、是非実現させたいと思います。
- ④東北アマチュア無線フェスティバル(仮称)の開催に向け、早期に検討を始めます。
2018 年の東北復興アマチュア無線フェスティバルは多くの来場者で賑わい大きな成果を上げました。近年のハム人口減少、超高齢化、子供の無線離れ等、認知度が低下する現状を改善するために、JARL 会長が提唱する地方広域ハムフェアの開催が必要です。東北地方本部社員に呼び掛け、東北地方本部長や各県支部長にも働きかけながら開催実現に向けて話し合いを進めてまいります。
成果を上げる
- ⑤JARL からの情報や無線関連の情報の集約に努め、会員の皆様への情報提供に努めます。
社員総会出席や各地のイベント参加、さらに社員として入手した様々な情報は、ネットや SNS を利用して積極的に発信します。また各県で開催されるハムイベントの情報を収集し、他県の会員にも広報周知して参加を促し、各々のイベントが多数の来場者で賑わうように力を尽くします。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : JH7NSR
②氏名(フリガナ) : 高杉 直樹(タカスギ ナオキ)
③年齢 : 66歳
④職業 : 会社経営
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

開局当時より、50MHz帯の活性化に取り組んでまいりました。
東北6mFMロールコールのキー局として、条件次第では有りましたが、
8エリアから2エリアまでの参加をいただいた記憶が御座います。
突如として現れる国内外への特殊伝搬も魅力的と考えております。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

☆JARLの自浄活動に関して

監査指導委員長を拝命していた時期に、ある放送局の番組にて、
漁船と船長ご自宅間の、漁獲状況・入港予定等の、
業務内容通信の生中継放送が有りました。
無線機型番、デジタル表示の周波数、通信内容等々、
詳細に生放送されていました。明らかに電波法違反の通信と判断し、
監査指導委員長を名乗った上で、
当該放送局に情報を伝え、見解を求めました。

結果、放送局の担当者に電波法違反の認識が無かった事。
当該無線局は合法的には開設されていた物の、免許人には、
通信内容が違法である事の認識が無かった事が判明いたしました。

JARLに限らず、どの分野においても、自浄作用が無ければ、
結果的に、不自由な法的規制の対象となる事も考えられます。
監査指導委員会の活動を通して、
JARLとしての自浄活動に貢献出来ればと考えております。

☆災害時等の通信確保に関して

法的な非常通信以外でも、
災害時等のアマチュア無線活動の可能性を検討いたします。
昨今、デジタル環境が整備されてはいますが、電源・通信設備等の不具合に
よって、通信が不調となる事も度々発生しています。普段の運用を通じて、
通信可能な地域情報の確認が、非常時に役立つ事と考えております。
非常通信訓練コンテストの伝聞に、何かもう一工夫も良いかと考えております。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : JP7WAB
- ②氏名(フリガナ) : 高橋 駿平 タカハシ シュンペイ
- ③年齢 : 29歳(1996(平成8)年3月27日生)秋田県出身
- ④職業 : 大学生
- ⑤無線従事者資格 : 第3級アマチュア無線技士、第2級陸上特殊無線技士

力を入れている無線活動

JARLの各コンテスト・イベント等に積極的に参加し、イベントとしては関西ハムフェス、アイボールミーティング(都内)に出席、大阪・関西万博記念局に訪問、さらにハムフェア2025には自らのクラブとして初出展をし、大変ご好評を得ました。

市・県ボランティアセンター等のイベントに積極的に出席し、一般層へのアマチュア無線のアピール活動を行っております。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

・情報開示

前回2025年社員総会で会員の皆さまから負託を受けた多くの質問が掲載もされないという事態となりました。会長が交代したからといって情報開示の姿勢はあまり改善されたとはいえません。

引き続き、この情報開示の姿勢について厳しく対峙し、開かれた組織にするため努力して参ります。

・各団体との関係強化

従前より取り組んでいる「アマチュア無線活動の推進」についてですが、「一般社団法人Youngsters on the Air Japan(YOTA Japan)」について、昨2025年11月のJARL理事会報告で覚書を結んだとありますが、YOTA Japanの活動縮小に伴うものである、という情報を得たところであり、進歩的な形式ではないことが判明しました。引き続き、下記に列挙する団体について、双方に於いて進歩性のある連携を働きかけたいと存じます。

・公益財団法人日本無線協会 ・一般財団法人情報通信振興会 ・国立研究開発法人情報通信研究機構 ・放送大学学園 ・日本赤十字社 ・社会福祉法人全国社会福祉協議会 ・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 ・公益社団法人ガールスカウト日本連盟 ・一般社団法人日本協同組合連携機構(JCA) ・特定非営利活動法人日本防災士機構 ・特定非営利活動法人日本防災士会 ・一般社団法人日本コミュニティ放送協会(JCBA)

・若い世代を中心としたアプローチに向けたイベント実施等広報戦略の模索

引き続き、若い世代へアマチュア無線をどうアプローチすれば良いかを模索したいと考えています。

昨2025年、関西地方本部が出展した大阪・関西万博記念局では幅広い世代から体験交信への参加があり、全国的に見ても非常に大きな手応えがあったことは周知の事実となっております。

東北地方はじめとする他地方でも、比較的規模が限られる中で、地域ボランティア関係機関とも連携しながら、普及活動イベントを開催できるか万博の例も踏まえ引き続き模索しています。

こちらも引き続き、JARL会費、ハムフェア入場料に「U-35割」の導入を求め、JARLにも同様の施策の実施を引き続き要望します。

引き続き、「エイジフリー」「ジェンダーフリー」「ボーダーレス」を掲げ、この国の少子高齢化社会の中でのアマチュア無線の生存策を探求模索して参ります。

アマチュアコードが定めるところの「アマチュアは、進歩的であること」の限らない履行の貫徹、温故知新かつ、時代に適合しながらもどこよりも先進的に諸政策の実施を行います。

もっと、若年層に電波の「ときめき」「かがやき」「あこがれ」を届けます。

そして、「電波のある未来」をいつまでも……!

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山形)

- ①コールサイン : JA7FSP
②氏名(フリガナ) : 双橋 康男
③年齢 : 78
④職業 : ありません
⑤無線従事者資格 : オー級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

レヒータ JR7WS (P-Star) の管理。
オールバンドでの運用(特に18MHz, 24MHz)
中学校祭でのアマチュア無線紹介, 体験運用

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

アマチュア無線は、個人的な趣味で有り、運用の形は人それぞれ、考えも人それぞれです。

最近、アワードや数名の個人等周波数のグループ化が目立ちます。

極端に言えば応答するのはご老体(私もですが)

大げさですが、地方では、このように感じてしまいます。

この状態で、小中高の生徒さんをアマチュア無線に引き込み、「さあQSOしましょう」と言ったとき彼らはどの様に感じるでしょう。

自信をもって素晴らしい趣味です。と言い切ることはできません。

でも、体験運用で応答していただく方々は良い人ばかり、感謝しています
相手を対等の無線局として話をしてください。

自分もこのような運用をして行きたいと思います

JARLに対し自分ができる事・・・多分ないです。特別な権力等持っていません。

でも、無線通信の黎明期から、命を懸けて「アマチュア無線」を現代の様な自由で楽しいものにしてくれた先輩達の思いを次の世代に受け継いでもらい、又守っていく活動を微力ながら行っていきたいと考えています。

JARLの方針について意見を述べ、可否を自分の信念に基好き判断するそれが、社員としての役割と考えます。

ご賛同いただければ幸いです。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 青森県)

- ①コールサイン : JK7LXU
②氏名(フリガナ) : イシオカ ヒロカズ 石岡 洋一
③年齢 : 70歳
④職業 : なし
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・ JARD養成課程の講師として「ハムのたまご」の輩出に努めています。
- ・ ARRLのボランティア試験官(VE)を務め、国際的な視野で活動するハムを育てる活動を続けています。(資格:アマチュアExtra級)
- ・ 青森県内外のDX通信愛好家と毎年秋、「DX情報懇談会」を開催し無線技術の向上と意見交流を行っています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・ 「ハムのたまご」が国際的な視野で活動するDXerに育つには、3級から2級、そして1級アマチュア無線技士へとステップアップすることが肝心です。
- ・ あわせて無線技術の向上と知識の深化、健全な通信マナーの習得が必要です。

そのような会員が多く集うことが、JARL組織の発展につながると思います。
「DX情報懇談会」がそれらの一助となるよう、今後も地元の仲間と協力して、地道に継続開催します。

令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(東北)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県支部)

- ①コールサイン : JA7ODY
②氏名(フリガナ) : 佐々木 秀夫 (ささき ひでお)
③年齢 : 68歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士 第一級陸上特殊無線技士

力を入れている無線活動

- ・支部イベントなどでの支援を行なっています。
- ・東北地方本部 宮城県支部のコンテスト委員長として30年以上活動しています。
- ・国内外のコンテストに参加しています。
- ・1.8MHz~1200MHz帯の各バンドで運用。また、アイポールミーティング等に参加しコミュニケーションを図っています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・JARL会員増強に努めます。
- ・JARLと会員の橋渡しを行います。
- ・支部でのイベントを支援し活性化に努めます。
- ・青少年がアマチュア無線に興味を持てるよう啓発活動します。
- ・カムバックアマチュア局を支援し互いに楽しめるよう努めます

アマチュア無線の魅力、楽しさを伝えて、声を聴いて参ります。